

再々評価調書

事業名	二級河川牛滝川 河川改修事業			
担当部署	都市整備部 河川室 河川整備課 中小河川グループ(連絡先 06 - 6944 - 9297)			
事業箇所	忠岡町馬瀬地先～岸和田市稲葉町地先			
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	牛滝川は、流域の宅地開発が進み、資産単価が増大しているため、洪水による被害を防止し、豊かな生活環境を築くため河川改修を進める。		
	内容	【全体計画】 改修延長 L=約7.4km 目標流量：700m³/s 榎尾川合流地点(1/100年確率 時間雨量86.9mm) 護岸工：約7.4km、道路橋：25橋、鉄道橋：1橋、堰：4基 【河川整備計画】 整備計画延長：L=約4.2km 目標流量：200m³/s JR橋梁地点(1/18年確率 時間雨量50.0mm) 護岸工：約4.2km、道路橋：15橋、堰：2基		
	事業費 ()内の数値は前回評価時点のもの	全体事業費約238億円(約238億円) うち投資事業費約87億円(約76億円) (内訳)用地費 約115億円(約115億円) (内訳)用地費約39億円(約34億円) 工事費 約120億円(約120億円) 工事費約47億円(約41億円) 調査費 約3億円(約3億円) 調査費約1億円(約1億円)		
	事業費の変動要因	【事業費の変動理由】 変更なし	【工事費の内訳】 護岸工約78億円 道路橋約18億円 鉄道橋約19億円 堰 約5億円	
	維持管理費	約9百万円/年(実績等に基づく算定)		
	上位計画	大津川水系河川整備基本方針(H12.12) 大津川水系河川整備計画(H13.2) 「大阪府都市基盤整備中期計画(案)改定版」(H17.3)		
	関連事業	-		
	経過	事前評価時点(S61年)	再評価時点(H15年)	再々評価時点(H20)
事業採択年度 事業着工年度 完成予定年度	S61年 S61年 H37年	S61年 S61年 H50年頃	S61年 S61年 H50年頃[H27年] []内は河川整備計画	
進捗状況	用地：-% 工事：-% 整備延長7.4km(24%) 河川整備計画延長4.2km	用地：30% <3.12ha / 10.4ha> 工事：34% 整備済延長(全体計画)1.8km(24%) 整備済延長(整備計画)0.2km(5%)	用地：35% <3.59ha / 10.4ha> 工事：39% 整備済延長(全体計画)1.8km(24%) 整備済延長(整備計画)0.4km(10%)	用地は概ね計画通り推移している。工事は、河川整備計画に従い、50mm対策の改修を進めている。改修箇所から氾濫防止が図れる。

今後の事業進捗の見通し	河川整備計画に従い、当面は、JR橋梁～包近高橋の間(4.2km)において、50mm対策の改修を進める。 【新たなコスト縮減や代替案等の可能性】特になし。
-------------	---

事業目的に関する諸状況	事前評価時点	再評価時点	再々評価時点	分析
	河川事業 想定氾濫区域562ha 浸水戸数約16,295戸 大津川水系全体計画における想定	河川事業 想定氾濫区域716ha 浸水戸数約18,500戸	河川事業 想定氾濫区域716ha 浸水戸数約19,500戸	氾濫想定区域内の世帯数が増加している。
事業を巡る社会情勢の変化		平成14年度より包近高橋部においてアトプトリバ-による地元周辺住民主導の河川維持活動を契約。	事業に対する地元の協力は得られている。継続した河川改修により地元理解を得ながら推進している。	アトプトリバ-プログラムにより地元の協力が得られやすくなった。
地元等の協力体制				

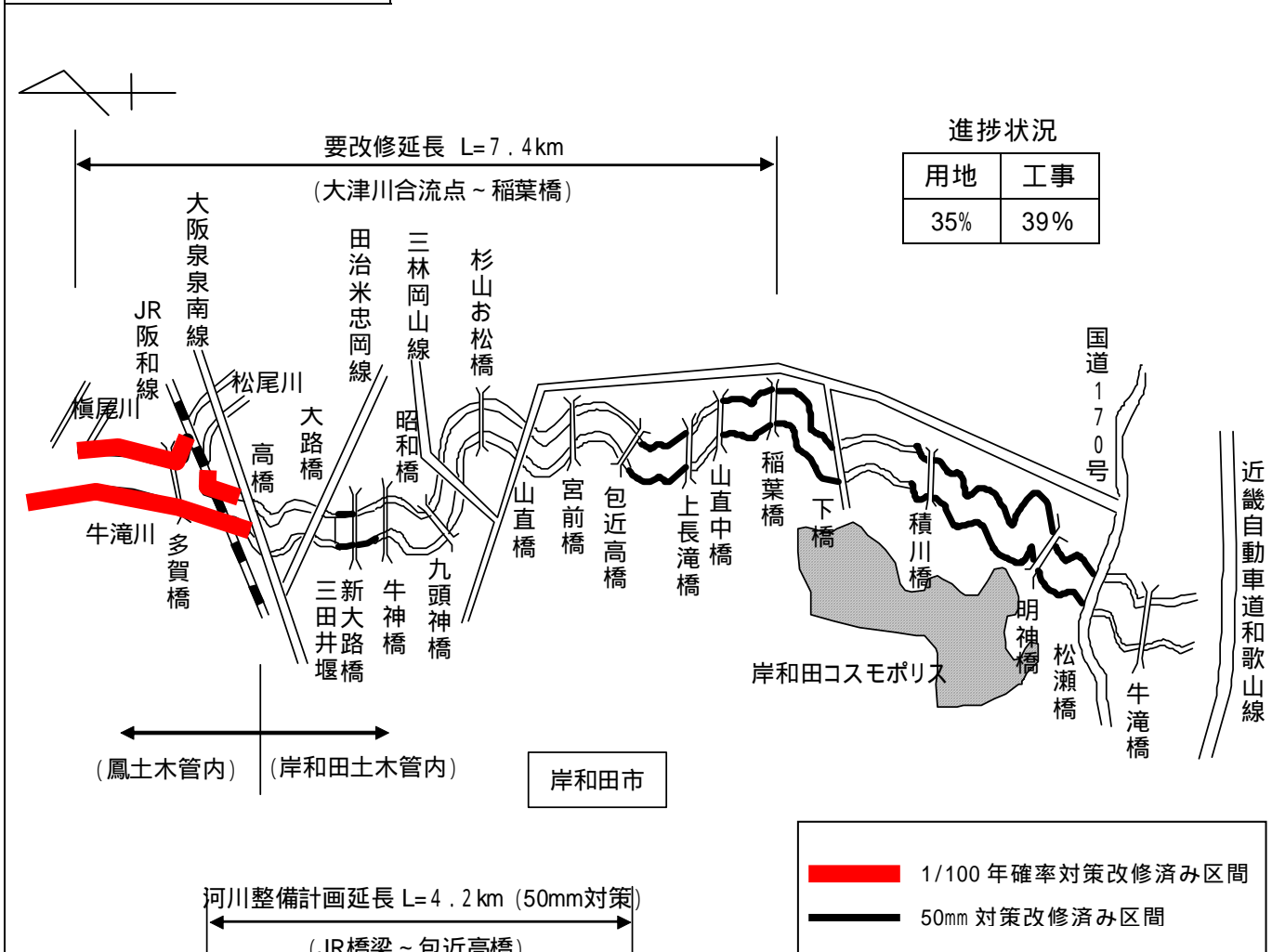
	事前評価時点での状況		再評価時点での状況	再々評価時点での状況(変更点)	分析
		備考			
事業効果の分析	費用便益分析	下記代替指標による	<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 1.70 便益総額 B = 309.26 億円 総費用 C = 182.42 億円 ・ 費用便益算定の根拠： 治水経済調査マニュアル(案) 平成 12 年 5 月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 1.68 便益総額 B = 366.40 億円 浸水被害軽減便益 366.40 億円 総費用 C = 218.72 億円 建設費 216.70 億円 維持管理費 2.02 億円 ・ 費用便益算定の根拠： 治水経済調査マニュアル(案) 平成 17 年 4 月 	想定氾濫区域内の浸水戸数増加に伴い、便益総額が増加している。一方、総費用については事業費の変更はないが、過年度の投資事業費を考慮し現在価値化を行う、時点の違いにより増加している。
	その他の指標(代替指標)	C / B = (トータルコスト) / (年平均被害額) = 20.7	便益内容：資産被害防止効果 受益者：周辺住民、農業従事者		
	定性的分析	<安全・安心> 浸水被害の軽減(生命・財産)・・・受益者：周辺住民、農業従事者		<p>整備計画策定により、地域住民の意見を反映した改修事業を実施している。</p> <p><安全・安心> H13 年度に狭小部であった JR 橋梁の改築が完了。</p> <p><活力> 平成 14 年度より包近高橋部において「アドプトリバー」による住民主導の河川維持。</p> <p><快適性> 緑化ブロック等の施工による、良好な景観の創出。</p> <p><その他> 緑化ブロック等の施工による、既存種の植生回復。</p>	<p>河川整備方針・河川整備計画の策定により、地域住民の意見を反映した改修事業を実施している。</p> <p><安全・安心> 同左</p> <p><活力> 同左</p> <p><快適性> 同左</p> <p><その他> 同左</p>
自然環境等への影響と対策			牛滝川は市街地の進む中、多くの生物の貴重な生息環境となっているため、生物の生息環境に十分配慮する。	同左	整備計画に従い、自然環境の保全と回復に配慮した改修を行っている。
その他特記すべき事項				河川の水位情報、浸水想定区域を公表している。	
前回評価時の意見具申・府の対応方針の概要	<p>【意見具申】</p> <p>【府の対応方針】</p>		<p>【意見具申】本事業については、「事業継続は妥当」と判断する。</p> <p>【府の対応方針】『事業継続』とする。</p>	(前回評価に対する具体的な取組み) 引き続き事業の進捗に努める。	

二級河川牛滝川河川改修事業概要図

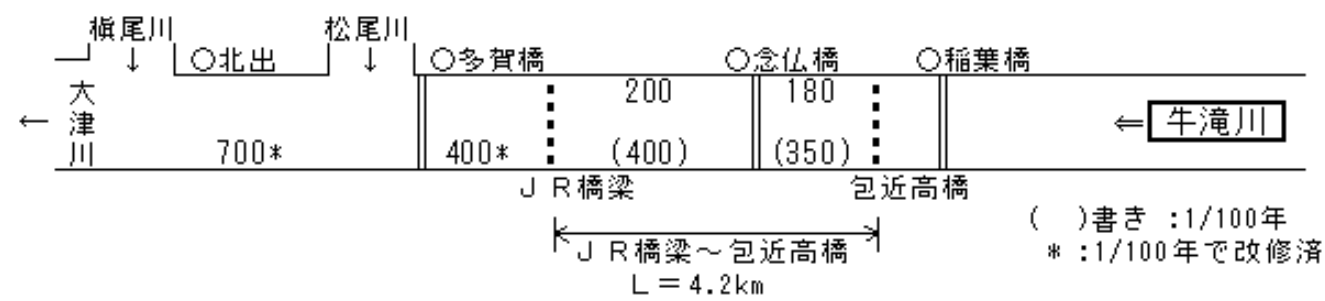
事業箇所図



平面図



流量配分図



標準断面図

